

2021年度 社長メッセージ

時代のニーズに対応する新しい価値を創出するため さまざまな変革を加速させています

代表取締役社長 **井上善雄**

TOMOEGAWAの事業活動における行動原理は、次の「創業精神」にすべて集約されています。

誠実

我々は事業に対しても、人に対しても誠実を旨とする

社会貢献

我々は事業を通じて社会に貢献する

開拓者精神

我々は開拓者精神をもって事業に挺身する

この創業精神のもとで、私たちは「グローバルに展開する全員参加の開発型企業」を目指し、お客様の成功と発展を支える最良のパートナーとして、時代のニーズに対応する新しい価値を創出し続けてまいります。

2020年度は、世界的に大きな影響をもたらしている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の脅威と対峙した1年でした。

新型コロナウイルス感染症に伴う急速な環境変化があった中、感染リスク対策に加え、事業運営面では、米国トナー工場の閉鎖、洋紙事業における抄紙設備集約、営業拠点の集約、グループ経営の強化などの「変革」をスピード感をもって推進してまいりました。

本誌では特集として「変革を加速」をキーワードに「新型コロナウイルス対策」、IT戦略ツールの活用やライフワークバランスによる「働きやすい環境づくり」への取組み、「新製品の開発」、「オンラインを活用したPR活動」を通じた、社会・環境への取り組みの一端を紹介しております。

現在のところ、グループ会社を含めTOMOEGAWAでは感染症対策が功を奏し、感染状況については一定の成果が得られています。

ワクチンの職域接種への対応については、東京本社は6月30日から接種が始まります。また、静岡地区は7月末からの開始を予定しております。

今後も引き続き危機管理対策を推進してまいります。

新製品開発については、熱・電気・電磁波コントロール材料「iCas®」ブランド製品として、新型静電チャック、高性能ヒートシンク、フレキシブル配管ヒーターなどが順調に立ち上がりつつあり、半導体製造装置の省エネルギー化への貢献が期待できます。本誌では、JAXA種子島宇宙センターにおいて実証実験がスタートしたドライエアユニットと、熱伝導性と電磁波吸収性の課題を同時に解決するグリースの開発品をご紹介します。

SDGsへの取り組みでは、当社は開発型企業として環境



負荷低減をもたらす新製品を開発することによって貢献していくことを基本戦略とし、環境配慮製品としてセルロースマイクロファイバーを配合した樹脂「グリーンチップ® CMF」の製品開発を進めております。また、熱や電気のコントロール性能を向上させた「iCas®」ブランド製品はお客様にご使用いただくことによりエネルギー使用量の削減への貢献が可能となります。

もちろん、戦後直後から手掛けて参りました山林経営によるCO₂吸収、治山治水効果を通じた社会貢献も継続してまいります。

また当社は、コンプライアンス遵守、安全衛生、人材育成及び人材の多様化などにも継続して取り組んでおり、本誌のなかでこれらの活動内容を紹介しております。

TOMOEGAWAは、全てのステークホルダーの皆様との対話を重視し、説明責任を果たしながら、強固な信頼関係をさらに高めていく所存です。

引き続きTOMOEGAWA及びグループ企業への、ご指導、ご鞭撻、ご支援を何卒よろしくお願いいたします。

企業理念 / SDGs への取り組み

TOMOEGAWA グループの企業理念

「グローバルに展開し成長する全員参加の開発型企业」を目指し活動している TOMOEGAWA グループの理念です。



SDGs (持続可能な開発目標) とは

持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。



TOMOEGAWA の SDGs への取り組み

開発型企业として材料開発を通じてイノベーションを推進し、CO₂削減、エネルギー問題、気候や環境保全に貢献していきます。

当社は5Gやカーエレクトロニクス等の普及、DX推進により多くの電子機器・部品で求められている高電圧、大電流、高周波に適応するため、「熱・電気・電磁波」をコントロールするさまざまなソリューションを「iCas®」ブランドとして提供しています。中でも、熱、電気のコントロール性能を向上させた製品は、お客様にご使用いただくことによりエネルギー使用量削減への貢献が可能となります。

また2020年に、ポリプロピレン (PP) 樹脂にセルロースマイクロファイバーを高配合 (最大55%) した新材料「グリーンチップ® CMF」をエフピー化成工業株式会社 (静岡県富士市) と共同開発しました。セルロースマイクロファイバーは再生可能な植物由来材料であるセルロース繊維をマイクロファイバー化した材料です。PP樹脂に配合することでPP樹脂のみの場合と比較して、強度・耐熱性を向上でき、石油由来樹脂の使用量も低減できます。ベースとなる樹脂に、ポリスチレン (PS) やポリエチレン (PE)、さらに、ゴム、エラストマー、生分解性樹脂を検討するなど、さらなる環境配慮性の向上を図っています。



グリーンチップ® CMF

これらに加え、抄紙技術を活用した「コンバージョンシート」や「機能性担持シート」など、廃棄物削減、有害化学物質対策に貢献できる製品開発を多数進めています。

また、当社は現在、和歌山県、三重県、奈良県の紀伊半島に3,031haの社有林を保有し、かつてパルプ原料調達により伐採された跡地に植えたスギ・ヒノキを対象に保育事業を行ってまいりました。成長した立木は伐採して活用し、その後は再び苗木を植え循環させる持続可能な森林経営を目指しています。

今後も、個々の目標の重要性を認識し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを進めてまいります。